

監査報告書

2025年5月20日

社会福祉法人 悠遊

理事長 山田健介 殿

監事 秋山 孝之



監事 清水 浩子



私たち監事は、2024年4月1日から2025年3月31日までの2024年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事、評議員及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会、評議員会その他重要な会議に出席し、理事、評議員及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事、評議員の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する事実は認められません。
- ③ 事業運営について
 - ・「経営基盤再構築計画」2年目になり、営業活動、広報活動への積極的な取組みとともに、拠点単位での事業所間の横の連携強化などの成果がみられており、5つの重点事業所でも新規利用登録の増加がみられています。新年度に向けて、この流れを引き継ぎ、経営基盤強化の推進が図れることを期待します。
 - ・関係団体との連携が大きな力になっています。生活クラブ生協・東京からの長期運営資金の融資は最後の支援との覚悟で経営改善に取り組まなければなりません。また、一般社団法人全国コープ福祉連帯機構への加入による助言や各種研修参加なども大きな力になっています。少しずつですが改善が進んでいることを評価します。

- ・職員の法人経営に関する情報共有が進みました。職員一人一人が、法人経営の目的や目標、進め方を理解することで、経営改善を自分事として感じられる職員が増え経営改善が進むことを願っています。

- ・「生活クラブ 10 の基本ケア」の取組みの推進を評価します。職員の日々のケアに生かすと同時に、地域への発信により連携の推進にもつながる可能性があり、さらに積極的に取り組む必要があります。

- ・ハラスメントの防止や大規模災害対策などに取り組んでください。特に大規模災害対策については、発災の時間帯などあらゆる事態に対処できる体制を整えておくことが必要と考えます。

（２）計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。